

中国地域ニュービジネス大賞

表彰事業

汎用性の高い新鏡面塗装「GLANZCOATシステム」

株式会社フェクト

代表取締役社長 やすだ かいと 安田 海人



受賞理由

塗って乾燥させるだけで銀の光沢を生かした塗装が可能な新鏡面塗装「GLANZCOATシステム」を6年かけて開発し、平成26年9月に特許を取得している。銀を使った塗装は、高価で工程が複雑なため市場が広がらなかったが、「GLANZCOATシステム」は、これまで環境面で問題のある銀メッキや設備の導入コストに課題のあった真空蒸着とは異なり、インクジェットなど既存の塗装設備で使用できることから、自動車の装飾や家電・携帯電話の表面など高級感が必要な部品のほか、内装用のプラスチックや木材への塗装等、多方面にも利用できる汎用性の高さが特徴である。「GLANZCOATシステム」は、基本的に三層の膜から形成され、三層膜形成の工程はすべて既存の塗料と同じ扱いで良く、既存の塗装ラインをそのまま適用できることから新しい設備投資を必要とせず、複雑な形状物などに対してもこれまで塗装業者が独自に培ってきた技術をそのまま流用できる。本社の研究施設のほか、鳥取県産業技術センター内にも研究室を設け、産官学連携による開発に取り組んでいる。

ポイント

- ・ 塗装できる対象物であれば、すべて鏡面仕上げの金属調意匠を表現できる。
- ・ 上塗層は、銀コーティング層の保護を第一の目的としているが、ユーザーの要望に合わせて様々な特性（硬度・耐擦傷性・耐摩耗性・耐候性・耐腐食性・耐汚染性・耐薬品性・耐熱性・抗菌抗ウイルス性等）を付与できる。
- ・ 既存技術に比べて、既存設備の利用、単純工程、加工時間短縮、コスト削減、環境負荷低減などの強みを持つ。

事業概要

(株)フェクトは、コーティング・ファインケミカル事業として、機能性コーティング剤、機能性口付剤、難燃・防炎剤の研究開発、製造販売を行っている。最終ユーザーは電子部品や車両関係、電力会社関係、食品関係、医療関係、公共機関などである。海外ではヨーロッパ・ロシア・北米・南米・アジアなどで展開している。「GLANZCOATシステム」の概要は、以下の通りである。コーティングによる鏡面のような金属調表現のニーズは、車両、家電などの工業デザイン分野に多く存在するが、いずれの技術においても専用の設備を必要とし、コーティングできる素材や形状に制約を受けたり、ランニングコストが高いなどのデメリットを抱えている。これに対して、スプレー塗装やインクジェット印刷によりコーティングが可能であり、低温での乾燥で均一な鏡面膜層を形成することができる銀鏡膜層形成組成液、並びにこれを用いた「GLANZCOATシステム」を開発した。すでに車両・家電メーカーと評価を進めており、表面処理業界で大きく注目されている。

推薦団体

(株)中国銀行 津山支店・(株)山陰合同銀行 津山支店

| | | | |
|-------|--------------------------|-------|-------------------------------------------------------|
| 会社所在地 | 〒708-0856 岡山県津山市西吉田558-3 | | |
| T E L | 0868-35-2315 | U R L | http://www.fect.jp/ |
| 会社設立 | 平成17年8月 | 従業員数 | 19名(平成27年4月1日現在) |
| 資本金 | 10百万円 | 売上高 | 523百万円(平成26年8月期) |

新鏡面塗装システム

GLANZCOAT



グランツコート 特許第5610359号、特開2014-139291

独自のナノテクノロジーによる、銀ナノ粒子コーティング
幅広い工業製品に短時間で鏡面塗装処理
メッキ、銀鏡を越える新塗装システム

GLANZCOATの特徴

●従来の塗装装置で塗装可能

専用設備（二頭ガンなど）不要。通常の塗装設備で使用でき、インクジェットでも可能です。
トップ、アンダーコートには多機能化が可能な「FOCシステム」が適用できます。

●高品質・高耐久

従来のメッキや銀鏡塗装では不安定だった塗装品質と耐久性が向上し、安定した仕上がりが可能です。

●質感の付与

多彩な意匠性(金属調カラーバリエーション)、箔調仕上げ(金箔、銀箔)など高級質感の付与が可能です。

●低コスト

大幅な工程削減と銀膜薄膜化（0.2μm以下）で経済性がアップしました。



株式会社フェクト

本社 / 〒708-0856 岡山県津山市西吉田558-3 TEL 0868-35-2315, FAX 0868-35-2316
東京営業所 / 〒140-0002 東京都品川区東品川1-5-10B TEL 03-5461-4185, FAX 03-6369-4186
米子研究所 / 〒689-3522 鳥取県米子市日下1239 鳥取県産業技術センター機械素材研究所内